

2 1. 新規褥瘡発生率

算式

【分子】 分母対象例のうち、入院中に新たに「DESIGN-Rでd2以上」又は「NPAUP分類でステージⅡ以上」に該当する褥瘡が発生した患者数

【分母】 新入院患者数

定義

入院患者における新規褥瘡の発生割合

指標の解説

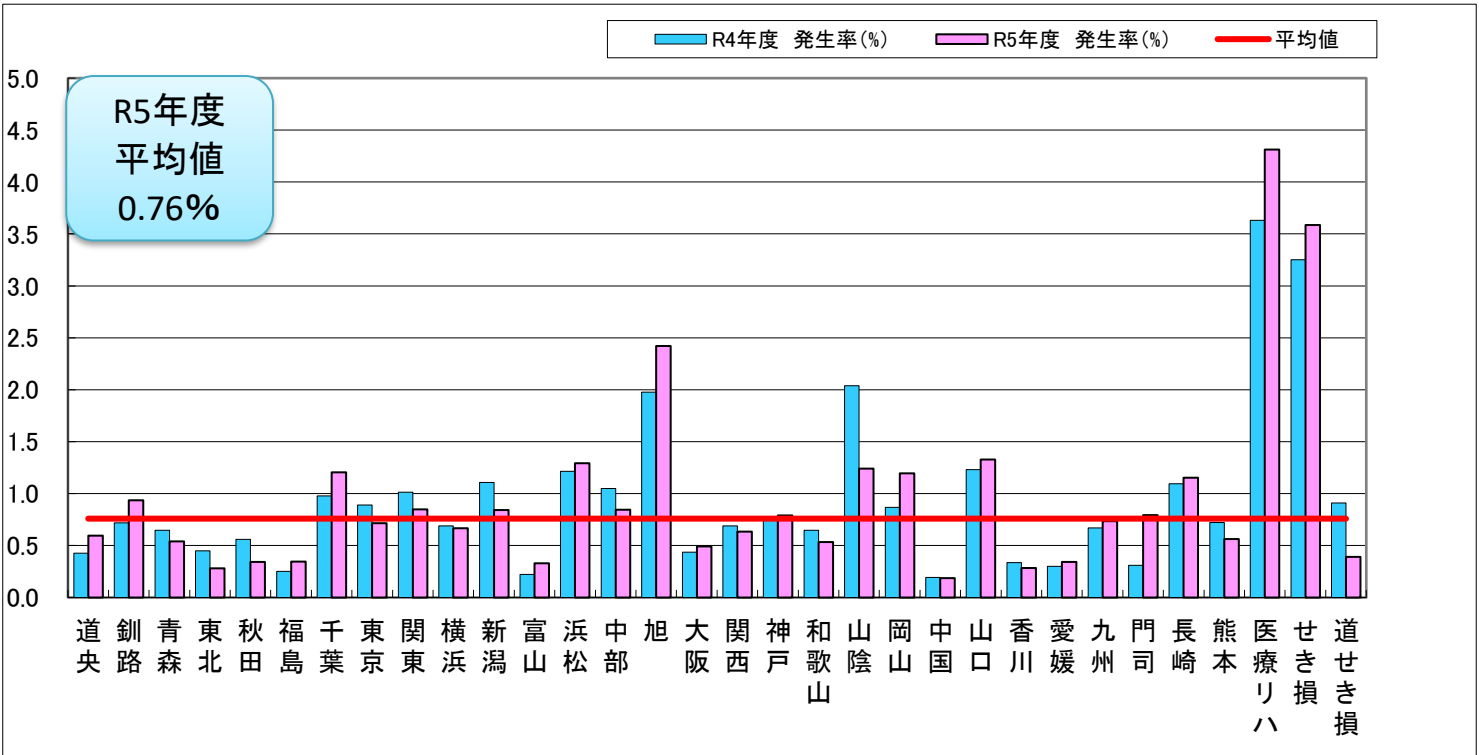
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、病院での褥瘡予防の取組みについて褥瘡の発生状況から評価する。

褥瘡は、患者のQOLの低下により、在院日数の長期化や医療費の増大につながる。褥瘡対策は、医療の重大な項目のひとつに取り上げられ診療報酬にも反映されている。

発生率が低い場合には、患者のQOL向上に積極的に取り組むとともに、効率的な医療を提供していると評価できる。

2 1. 新規褥瘡発生率



		R4年度			R5年度		
No	施設名	分母	分子	発生率(%)	分母	分子	発生率(%)
1	道央	2,578	11	0.43	2,354	14	0.59
2	釧路	8,343	60	0.72	8,434	79	0.94
3	青森	4,017	26	0.65	4,248	23	0.54
4	東北	9,759	44	0.45	10,353	29	0.28
5	秋田	1,784	10	0.56	1,756	6	0.34
6	福島	5,987	15	0.25	5,807	20	0.34
7	千葉	10,524	103	0.98	11,119	134	1.21
8	東京	6,287	56	0.89	6,557	47	0.72
9	関東	13,418	136	1.01	15,220	129	0.85
10	横浜	17,258	119	0.69	18,436	123	0.67
11	新潟	1,533	17	1.11	1,428	12	0.84
12	富山	3,605	8	0.22	3,927	13	0.33
13	浜松	5,188	63	1.21	5,186	67	1.29
14	中部	9,060	95	1.05	9,933	84	0.85
15	旭	4,401	87	1.98	4,705	114	2.42
16	大阪	20,774	91	0.44	20,965	103	0.49
17	関西	16,256	112	0.69	16,689	106	0.64
18	神戸	5,814	44	0.76	5,691	45	0.79
19	和歌山	7,423	48	0.65	7,326	39	0.53
20	山陰	6,626	135	2.04	6,603	82	1.24
21	岡山	5,538	48	0.87	6,279	75	1.19
22	中国	7,778	15	0.19	8,021	15	0.19
23	山口	4,471	55	1.23	4,819	64	1.33
24	香川	8,040	27	0.34	8,760	25	0.29
25	愛媛	2,659	8	0.30	2,640	9	0.34
26	九州	9,565	64	0.67	10,194	75	0.74
27	門司	2,891	9	0.31	3,151	25	0.79
28	長崎	5,111	56	1.10	5,550	64	1.15
29	熊本	8,873	64	0.72	9,053	51	0.56
30	医療リハ	358	13	3.63	371	16	4.31
31	せき損	1,107	36	3.25	1,088	39	3.58
32	道せき損	1,538	14	0.91	1,535	6	0.39
合計		218,564	1,689	0.77	228,198	1,733	0.76
平均	500床以上	14,421	100	0.69	17,828	115	0.65
	400床以上	8,148	48	0.59	9,158	60	0.65
	300床以上	6,298	63	1.00	5,908	57	0.96
	300床未満	2,406	22	0.90	2,473	25	1.02